

「オーストラリア学入門
“コアラの国” の法律あれこれ
一駐在員の法律雑記帳より」
を出版して……

鈴木勝

オーストラリア学入門

"コアラの国"の法律あれこれ

—駐在員の法律雑記帳より

鈴木 勝

オーストラリア

行こう！豪州へ

オーストラリアへ初めて旅行する人に…
もう一度、行こうと思っている人に…
駐在・移住しようと考えている人に……

駐在員だった著者が書いた「オーストラリア」を理解するための
入門書！……今、“ラッキー・カントリー”は呼んでいる!!

定価1500円

早稲田経営出版

〒160 東京都新宿区高田馬場1-28
TEL 03-208-8232 FAX 03-208-8220

オーストラリア学入門

"コアラの国"の法律あれこれ

—駐在員の法律雑記帳より

早稲田経営出版 〒160 東京都新宿区高田馬場1-28 TEL 03-208-8232

お名前

TEL ()

鈴木 勝 著

注文数

冊

書店(帖合)印

注文カード

ご担当

様

注文日 年 月 日

早稲田経営出版

FAX 03(208)8220

〒□□□-□□

ご住所

南半球・オーストラリアからのメッセージ

Australia a vast continent, home of the Aboriginal, the world's oldest race, settled only 200 years ago by British Convicts has grown into the world's most multiracial country.

It is destined to shake its European origins and become an important member of the Pacific/Asia region.

Mr. Suzuki who lived for many years in Australia has produced a graphic legal commentary of this vital young country as seen through the eyes of a traditional Japanese national.

The book makes fascinating reading since Japan and Australia are inevitably developing closer economic and cultural ties.

Captain Trevor Haworth
Member Order of Australia
President
Captain Cook Cruises Pty. Ltd
Sydney, Australia.

「オーストラリア」……広大な大陸、世界最古の人類・アボリジニ原住民にとっての母なる大地、二百年前にイギリスの囚人によって拓かれた地……は今や世界に類を見ない多種族民族国家に変化している。

ヨーロッパに起源を持つオーストラリアの様々なものは融合する運命になっている。また、オーストラリアは太平洋・アジア地域を構成する重要なメンバーともなっている。

長期間、豪州に駐在したミスター・スズキは伝統的な日本人の観察眼を持って、「若い活気溢れるオーストラリア」を“ナマ”的法律を通して紹介しようと試みた。

経済・文化・その他あらゆる分野で緊密な関係が更に必要な現在、本書は時期を得た恰好の書物であると信じている。

トレヴァー ハワース キャプテンクック クルーズ社社長(元オーストラリア政府観光局理事)

本書の内容

第1章オーストラリア「昔」：刻みこまれた大英帝国

オーストラリアは誰の物？／パン泥棒は7年間の島流し？／オーストラリアにも国定忠治が…／ユニオン・ジャックは永遠か？／他

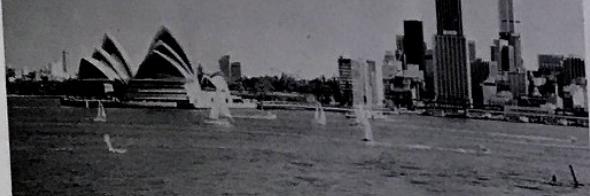
投票しない人は罰金だ！／名物のストライキは今日も…／オージーよ、よく遊べ！／コアラは行く。日本へ！／花泥棒に罰金！／麻薬に手をだすな！／

第2章オーストラリア「今」：オーストラリアは先進国？

見るべからず！プレイボーイ誌・ペントハウス誌／海外旅行は花盛り／他

第3章オーストラリア「未来」：“ラッキー・カントリー”は呼んでいる

行こうオーストラリアに／作ろう！会社を／あなたの赤ちゃんはオーストラリアン？／あなたの赤ちゃんはジャパニーズ？／ああ、結婚＆離婚／他



早稲田経営出版

〒160 東京都新宿区高田馬場1-28
TEL 03(208)8232

オーストラリア学入門
"コアラの国"の
法律あれこれ

一駐在員の法律雑記帳より

鈴木 勝

1989年(平成元年)1月21日

土曜日

37007号

(日刊)

ウィークエンド経済

司法試験代わり?

日豪の法律を 知る本を出版

JTB (日本交通公社) の海外旅行企画を受け持つ JTBワールド (本社・東京) オセアニア



ア部オペレーション課長の鈴木勝さん(四三)=写真=は、このほど「オーストラリア学入門」(コアラの国)の法律あれこれ一駆在賣の法律雑記帳より」(早稲田経営出版、千五百円)を出版した。

交通公社シドニー支店次長だった八一年八月から八六年三月までの間、銀行員や軍人、法務部の学生らに、日本語や日本の土地制度や税法、国籍法や自然保護制度など日豪を比較しながら専門家顔負けの幅広い知識を披露している。「旅行に関する法務を学ぶうち、司法試験に挑戦したくなりましてね」という鈴木さん。司法試験はこれまで二回受験して実らなかつたが、今回

の出版で「成績を形に表すことができだ」と満足げ



発行所 東京都中央区築地5丁目
3番2号郵便番号104-11
朝日新聞東京本社
電話 03-545-0131
郵便振替口座 東京0-1730
©朝日新聞東京本社 1989

経済事情を教える代わりに、英語と現地の法制度や慣習を教えてもらった。

そのナマの知識に、毎朝ごまめに現地紙を切り抜いた記事資料、そして自動車事故や盗難事件など自分の経験も加えたのが材料。それともとに、帰国後二年余りかかるて書き上げた。

法七

法学セミナー

1989年3月1日施行 每月1向1日发行 通函411号

昭和31年4月12日 第3種郵便物可

日本評論社

3

the hogaku seminar
vol.34 no.3 march 1989

●51435りい

——世に、旅行記・滞在記の類は数えきれないほどある。異質の生活と文化に接すれば、人はその土地とそこに暮らす人間に興味がわき、また自分自身をふりかえることになる。そうすれば、おのずから思いを文に託して、たくなるものかもしれない。

それも、いろいろな場所、またそれを見る角度によって、さまざまに異なつてみえてくる。たまには比較的少ないのではないかと思うが、

「オーストラリア学入門『コアラの国』の法律あれこれ」――駐在員の法律雑記帳――という長いタイトルの本。想像していたよりも、法律という眼を通して、オーストラリアという土地とそこに生きる人間をいきいきと見せてくれる。

オーストラリアという土地も魅力的だ。

「日本とオーストラリアは経済・通商だけでなく、外交・文化・観光などの面で急速に結びつきを強くしています。私がオーストラリアに赴任したときは、わずかにJALとカンタスが週に数便あるだけでしたが、今は大幅に増えています。特に



インタビュー・らいぶらりい

オーストラリアの法と歴史と社会と

A black and white portrait photograph of a man with dark hair, wearing a dark suit jacket, a white shirt, and a patterned tie. He is looking directly at the camera with a neutral expression.

●すすき・まるる山

オーストラリアはハネム一人気がすごく、ハワイを生トップになっています。またテレビや新聞などの媒体も増え、ガイドブックもたくさんありました。しかし、ナダオーストラリアおよびオーストラリア人について多くの人が知られてはいないのが実感です。

機会があつて、シドニー年間暮らしたのですから、からオーストラリアとかかをもどうとする人に、実情れもそこで暮らす)を紹介のも一つの責任かな、とも思ふ次第です」

——著者は、もともとは法学院にチャレンジしていたとかしJTBに勤務するうちに事の必要もあって法学の勉強事はじめたという勉強家。司法試験に合格して、それでオーストラリアの歴史と社会をとらえている。それも、憲法をはじめとして幅広く眼がいきをはじめとして幅広く眼がいきとぞしている。

オーストラリア裁判制度、憲法改正問題、選挙制度、国際法、移民に関する法律、アボリジニ原住民の土地所有権問題、労働条件、賃貸借契約、離婚法、売春問題等々。

「初めての海外駐在で公私に
わたって慣れないことづづけで
したが、この疲れをいやしてくれ
たのが、オーストラリアの法
律問題に関する記事を読むこと
でした。毎日の新聞——主にシ
ドニー・モーニング・ヘラルド
というのですが——のスクラッ
プは滞在する五年間に相当たま
っていました。それに不思議
と法律問題に接することが多か
ったのです。

また、私は新聞に広告を出し
て「日本語を習いたい人」を募
つたのです。これには、私も逆
にオーストラリアン・イングリ
ッシュを学びたいという魂胆も
あつたのですが……。ともか
く、その誘いにのつてきてくれた
た数人のオーストラリアの友人
との交流も大きく影響している
と思います。

帰國後しばらくして、ある雑
誌の連載記事に関する意見を投
書したところが、オーストラリア
のことを本格的に書こうとする
キッカケになりました」

オーストラリアは広大な大
陸。そこに住む人間も社会も、
日本の尺度では計れないユニー
クな考え方をしているようだ。

昭和63年12月1日発行(毎月1回1日発行)第16巻第12号 昭和63年11月2日 第三種郵便物認可

宝石

TOTAL MAGAZINE FOR MEN

DECEMBER 1988

新刊ファイル

*「コアラの国」の法律あれこれ
鈴木勝

かつて日本交通公社のオーストラリア駐在員だった著者が、『法律』といつてもむずかしいものでなく、動物愛護法のエピソードや移住のための知識などを楽しく役立つ話が満載。(早稲田経営出版 1500円)



昭和63年(1988年)11月7日 月曜日

新刊紹介

『コアラの国』の法律あれこれ
鈴木勝著

心配がなく安全だというの
で、オーストラリアの人気が
急速に高まっている。新婚旅
行の行く先どこも、今ハ
ワイをおさえてトップ。今ハ
だが、英国の殖民地として
出発したこの国の特異な慣
習、風習については、あまり
知られていない。

大洋旅行代理店に籍を置き
ながら司法試験を受験し
した経験を持つ著者は、五年
近くのシドニー駐在員生活中
に耳にした事柄のすべてに法
律面から解説を施し、單なる
印象記を超えた二冊の紹
介書にまとめてみた。

オーストラリアの歴史の現
状に加え、将来の展望にまで
筆は及んでおり、駐在員生活
を希望する読者は見逃せな
い。

(早稲田経営出版 東京本部
新宿区高田馬場一ノ一八ノ
三、B6判 二十五三、一五
〇〇円)

昭和63年(1988年)11月21日(月曜日)

新刊紹介

『コアラの国』の法律あれこれ
鈴木勝著

新婚旅行者を中心オースト
ラリアの旅客数が急激に増えて
いる。たなびく子供たちのス
クランプなどが社会文化の現
象を反映して、オーストラリア
はほんの短い間に世界の現
象を経験している。

オーストラリアの現
状は、オーストラリアの現
状を経験している。

オーストラリアの現
状は、オーストラリアの現
状を経験している。

日本と季節が逆で、珍しい
動物が多い。その上、テロの
事件など、たまたまこの間オースト
ラリアに赴いたが、翌年にはと
てつて戻らなければならぬ。
州ある金取れただった豪華
な出来事など、よくある事例
では花火大会が毎年開催され
るが、これが開催されると、
街が盛りあがめ、燃行などと
てて興味深い。土地柄から
住のオーストラリアで過すう
と考えている人にとって、本書
はお読みの参考になる。

(早稲田経営出版 東京本部
新宿区高田馬場一ノ一八ノ
三、B6判 二十五三、一五
〇〇円)

昭和63年(1988年)10月30日(日曜日) 信濃毎日新聞

新刊紹介

『コアラの国』の法律あれこれ
鈴木勝著

日本と季節が逆で、珍しい
動物が多い。その上、テロの
事件など、たまたまこの間オースト
ラリアに赴いたが、翌年にはと
てつて戻らなければならぬ。
州ある金取れただった豪華
な出来事など、よくある事例
では花火大会が毎年開催され
るが、これが開催されると、
街が盛りあがめ、燃行などと
てて興味深い。土地柄から
住のオーストラリアで過すう
と考えている人にとって、本書
はお読みの参考になる。

(早稲田経営出版 東京本部
新宿区高田馬場一ノ一八ノ
三、B6判 二十五三、一五
〇〇円)

Nichigo Press November 1988 (27)

NOVEMBER BOOKS

『新刊書案内』

『コアラの国』の法律あれこれ
—駐在員の法律雑記帳より
鈴木勝著 早稲田経営出版 293頁
昭和63年10月25日刊 1500円

1986年迄の5年間、JTBの豪州駐在
員だった著者が貴重な体験を旅行のブ
ロの目と家庭を持つ個人の人間として
の目と視点で法律の視点からまとめた
法律的知識を豊富に記録した書籍です。
著者の著者としての個人的な感想や、
出発したこの国の特異な慣
習についてなど、あまり
知られていない。

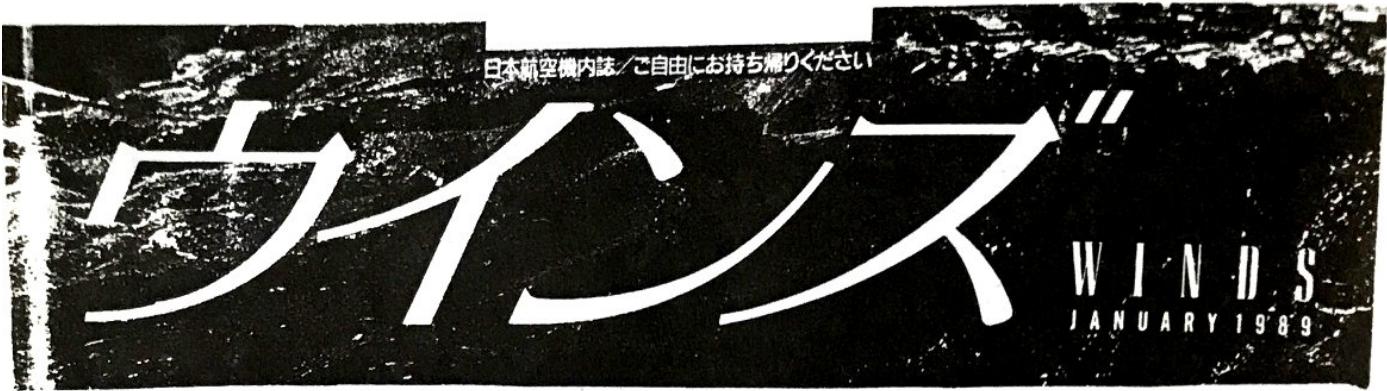
大洋旅行代理店に籍を置き
ながら司法試験を受験し
した経験を持つ著者は、五年
近くのシドニー駐在員生活中
に耳にした事柄のすべてに法
律面から解説を施し、單なる
印象記を超えた二冊の紹
介書にまとめてみた。

オーストラリアの歴史の現
状に加え、将来の展望にまで
筆は及んでおり、駐在員生活
を希望する読者は見逃せな
い。

(カンタス航空 大阪支店長 岩本敏夫)

著者: 鈴木勝
発行: 早稲田経営出版
定価: 1,500円

旅行業に従事する
かたわら法律に関心
を持ち続けてきた著
者は、オーストラリ
アを從来の旅行的な紹介ではなく、法律
に関するトピックやエピソードを通して幅広い視点から過去および現在のオーストラリアを浮彫りにしようと試みてい
る。



ちょっと気になる本棚

“コアラの国”の法律あれこれ



5年近いシドニーでの駐在員生活の間に、著者の関心はオーストラリアの法律に向けられました。日常生活の中で遭遇した法律のトピックスを紹介しています。これからオーストラリアに駐在あるいは移民される方におすすめの一冊です。
鈴木勝者 1,500円 早稲田経営出版刊

JAL NEWS STATION



サービスに関するあなたのご意見・ご要望をおきかせください

日航ハローライン
フリーダイヤル

ニッコーハロー
☎ 0120-258600

10月6日木曜日

スポーツニッポン新聞東京本社

東京本社 / 東京都千代田区一ツ橋1の1の1 平100
☎ 東京 03(213)3351
4 桂島 / 東京都江東区錦中島2の1の30 平135
☎ 東京 03(520)0611
大阪本社 / 大阪市大淀区大正3の2の25 平531
福岡本社 / 北九州市門司区清港1の4の1 平801
北海道支社 / 札幌市中央区北四条西6の1 平060

©スポーツニッポン新聞 1988

(1) 11版B 第14302号 (日刊) (昭和55年8月28日第3種郵便物認可)
40周年記念
略称《ス ポ ニ チ》



☆新刊こしまき集

◆ “コアラの国”の法律あれこれ (鈴木勝、早稲田経営出版行こう!) 在留たった著者が書いたオーストラリアを理解するための入門書。今“ラッキーカントリー”は呼んでいる

コアラの国^{ロゴ} 法律あれこれ

副題「一駐

在員の法律雑
記帳より」を
見てもわかる
ように、著者
鈴木勝氏は普
通の法律家で
はない。



日本交通公社シドニー支店次長と
して五年間オーストラリアに駐在、
現在JTBワールド・オセニア部
課長を務める生粋の旅行業界人であ
る。

海外でのセスナ機事故に付随する
補償問題や、そのほか国際契約問題
など国際部門に在籍していた頃から
法律の必要性を痛感していた。そし
て、公私交えた興味から学んできた

知識が、オーストラリアの生活に法
律という新たな視点を加える。

帰国後、東京の満員電車でオース
トラリアが誇る映画スター、メル・
ギブソン登場の某ビール

ポスター「コクがあるの
に切れがある」を目にし、
ノーフォーク諸島独立問
題へと話を発展させる。

また、ある章では銀行の
ステートメント残高欄に
D R (DEBIT) とマー
クされたことからオース
トラリアのクレジット &
小切手制度を述べる。

このように、日常生活にちらばる
エピソードを丹念に拾い上げ、オー
ストラリアの法律に膨らませるあた

早稲田経営出版発行
一五〇〇円
鈴木勝著

り、堅くなりがちなネタを上手にと
きほぐしている。

「今」、「未来」の三章に分け、大英帝
國を色濃く反映した領土や祝日、國
旗の問題から、労働事情、有給休暇
法、検疫制度など日常生活や経済の
現状、さらには移民法、各種ビザ、



会社法、国籍法などオーストラリア
に駐在・移住しようという人に役立
つ知識まで提供している。

B六判・二九三頁。